

松川村議会

平成20年7月15日

第129号

平成20年度一般会計予算総額は42億3978万円に

村長選に伴う骨格予算に、

西原地区水路改修、

馬羅尾マレットゴルフ場9ホール増設、

除雪基地増設など、1億2578万円を上乗せ



緑をはぐくむ植樹祭に参加

平成20年松川村議会第2回定例会が招集され、6月11日から20日までの10日間の会期で開かれました。専決11件、報告5件、議案8件を審議しました。

開会にあたり、村長は新たな任期の中で最大の課題であった企業誘致は、東京アートの進出が実現した残り13区(1万2500平方メートル)の契約に向け更に力を入れていきたい旨あいさつがありました。

会期中に、松川村消防団ポンプ操法大会が中学校校庭で開催され、議員もこれに出席しました。

村民の生命財産を守るための消防団活動に改めて感銘しました。

平成20年第2回定例会提出案件

【予算】

平成20年度一般会計補正予算など4件

賛成全員可決

【専決】

平成19年度一般会計・特別会計補正予算及び条例改正など11件

賛成全員承認

【条例】

新設条例

信州安曇野・松川村ふるさと応援寄付条例

賛成全員可決

条例改正

松川村福祉医療費給付金条例の一部改正など2議案

賛成全員可決

松川村工場等誘致振興条例の一部改正

可決 賛成10 反対1

【報告】

請願・陳情など5件

賛成全員承認

【採択】

「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書

30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書

長野県独自の30人規模学級の小・中全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願書

森林・林業・木材産業施策の積極的な展開を求める陳情書

請願・陳情

視察報告

多目的交流センターと松川村中央公園

平成20年5月15日



工事現場で説明を受ける

工事の状況について説明があり、
は約18分とのことでした。
また、中央公園南側の工事は、
6月10日に完成予定と説明があり、多目的交流センターが工事中のため、公園への出入りはまだできませんが、それぞれ庭園木も植栽され、すでに安らぎのある公園となっています。
文化活動の拠点として、憩える安らぎの公園として完成が期待されます。

平成21年2月末完成予定の多目的交流センターは、1階の鉄筋、型枠工事が終わり、2階の鉄筋工事中で、1階部分のコンクリート打設も始まっています。請負のハシパテクノス(株)現場責任者から現在の工事の進捗率

上緑町工業団地へ

ミネラルウォーター製造工場

平成20年6月6日



建設予定地を確認

上緑町工業団地に「東京アート株式会社」の進出が決まり、譲渡契約が締結され期待するところです。

上緑町工業団地の契約済み用地、残りの分譲用地の現在の状況などを確認するとともに、同社が安曇野市有明に操業しているミネラルウォーター製造工場(株式会社あづみ野)を視察しました。

この工場では、ペットボトルを成型する過程から地下水を注入し、箱詰めするすべての作業が機械化され、衛生管理も徹底されています。従業員の方々の対応も気持ち良く、「地域に貢献できる企業へ」とのあいさつもあり操業開始が待たれます。



有明工場にて



国営アルプスあづみの公園

Ⅱ大町・松川地区Ⅱ

平成20年6月6日

この公園は、7つに区分し、それぞれの特徴を活かした整備を行っています。
平成21年度春季の一部開園予定区域は、センターゾーン・保全ゾーン・林間レクリエーションゾーンの3カ所です。
林間レクリエーションゾーンにある写真の施設「サテライトハウス」内は、子どもたちの好奇心を満足させる遊具や探検トンネルが各所にあり、建物全体がひとつの遊具的空間となっています。また森の体験舎では、地元の食材などを使った野外調理などが楽しめます。
多様な自然体験、環境保全活動などの場ともなる「あづみの総合体験パーク」として、急ピッチで準備が進められました。

議会日誌

- 〔4月〕
- 2日 南北保育園入園式
- 3日 中学校入学式
- 4日 小学校入学式
- 13日 消防団入退団式
- 16日 議会全員協議会
- 19日 松川神社春季大祭
- 〔5月〕
- 10日 議会全員協議会
- 15日 多目的交流センター視察
- 17日 村植樹祭
- 22日 北アルプス広域連合議会
- 〔6月〕
- 2日 議会運営委員会
- 議会全員協議会
- 議会報編集委員会
- 6日 工業団地、国営アルプスあづみの公園等視察
- 11日 平成20年第2回定例会開会
- 20日 同閉会
- ほか
- 4・9 春の交通安全指導所開設
- 18 高瀬川右岸水利運営委員会
- 5・13 村営農支援センター運営委員会
- 21 村温泉施設等運営委員会
- 23 観光協会総会
- 28 村社協理人会・評議員会
- 29 穂高川水系治水砂防期成同盟会
- 30 村土地開発公社理事会
- 6・15 村消防団ポンプ操法大会など

一般質問 6人の議員が登場

平成20年6月17・18日



矢口議員

村財政の考え

問 現在、どこの自治体も財政が厳しく不足する財源は基金で補われている状況。基金の枯渇などが心配されるが、村は大丈夫か。

答 財政運営にはあらゆる努力をしている。社会情勢に大きな変化がない限り財源不足や基金の枯渇はないと考える。

問 自立の村づくり計画による正規職員の減員が住民サービスの低下にならないか。

答 低下しないよう精一杯努力したい。

高齢者福祉

問 高齢者世帯が増加している。日常生活の支援など要望の把握はどうしているか。

答 対応できる体制は整えているので要望の把握に努めたい。社協では各

地区のふれあいサロンが立上がつてきており、地域のつながりを重視する中で、災害弱者マップ作りなどを研究している。

水田農業活性化

問 荒廃、放棄農地を出さないためにも農家の実情を把握する個別懇談はできないか。

答 荒廃農地防止のため集落営農組合や認定農業者などと連携し円滑な農地の貸し借りを進めたい。



渡邊議員

後期高齢者医療制度

問 村民から苦情の声を多く聞く。村には問合せはどのくらいあったか。

答 20件ほどであった。

問 この制度は根本的に欠陥がある。医療費削減が目的で、75歳以上を別枠にし、制度が存続するほど高齢者やすべての世代に重い負担と医療切捨

てを押し付ける。この制度は廃止しないと強く思うが、村長は村民の代表として国に対して根本からやり直すべきだと声を上げてほしいが。

企業誘致と水資源問題

問 地下水を販売する企業が村で操業することになった。水資源は村の宝枯渇の危険性などの調査や水環境条例の制定が必要ではないか。

答 地下水量の調査は平成13年に行っている。この企業がフル操業になった時の地下水使用量は、水道水源の4分の1、水田の地下水利用量の10分の1の量であり枯渇の心配はないと思われる。

問 首相や官房長官は食糧自給率の向上に努力し、減反政策を見直していく必要性を表明した。これをどう受けとめるか。

答 減反政策の見直しは大賛成する。



白澤議員

子育て支援

問 「子育てリンリンセンター」の取組み状況は。

答 子育て相談員など各関係機関の連絡会を月2回開催している。今年度はカウンセラーを配置し支援していく。

問 今までの成果は。

答 設置から2カ月半で10件ほど相談があった。

問 保育園・小中学校など関係者への周知は。

答 発足時に周知した。センター長を配置する考えは。

問 将来必要とは思いますが今後慎重に検討したい。

答 村では道祖神マップを兼ねたウォーキングマップを製作中。広域レベルでは大北地域観光戦略会議で振興策を検討する。

問 地産地消の推進と観光農業をどう進めるか。

答 農業体験を取入れた農家民宿を検討し、観光と農業が連携するように推進していく。

問 松くい虫の状況は。

答 現在、村内の被害発生は認められない。森林監視員が2名、週1回巡視している。



井上議員

給食センター建替えは

問 実施計画では平成22年となっているが決定か。

答 決定ではなく予定として進めている段階。

問 検討委員会はどのようなか。

答 現在は白紙である。

問 村で研究委員会を立ち上げないか。

答 施設組合で検討した方がいろんな角度から検討ができると思う。

馬羅尾マレット増設

問 マレットゴルフ場のホール増設による駐車場の確保は。

答 運動広場の一部を駐車場に使用したい。

問 整備されたグラウンドを使用することはいいかなものか。

答 車の乗り入れには十分配慮する。大きな大会時にはシャトルバスの運行も考えたい。

西原遺跡公園整備

問 遺跡公園用地取得を平成23年以降とした訳は。

答 補助事業導入も視野に、整備計画を現在検討しているため。

問 国営公園開園に合わせ取組む考えはないか。

答 村にメリットがあるか検討しながら進めたい。

問 遺跡公園整備に支障がないよう発掘調査を早められないか。

答 整備計画ができてから検討したい。



新村議員

南神戸騒音問題

会社・当事者・地元区・村との4者協議の結果を聞きたい。

会社からは、今年11月末に村外へ移転する話が出された。

移転後の跡地について村はどう考えるか。

土地は借地で地権者がいる。いま、村が関与すべき立場ではないと考える。

村独自の環境基準を

住民の生活環境を守るために、騒音や振動などの基準を村で定める考えはあるか。

既存の工場に隣接する住宅などが村内に混在している。村全体にネットをかけていくことはむずかしい。

工業団地などは県の基準でなく村独自の環境基準ができないか。

県の基準を満たしていれば十分だと考える。

村内企業の育成

自主財源確保に商工

業振興は不可欠。村内企業を訪問し、意見や要望など情報収集が必要ではないか。

できる限り行いたい。



佐藤議員

長野県のHIV感染者数は全国1位

長野県はエイズの発病率が全国3位、妊娠検査での発見者数も全国トップである。保健所からの情報、指導はあるのか。

村へは随時、感染情報がある。保健所は相談や検査、正しい知識啓発を行い、発見したら専門の検査ができる医療機関を紹介などしている。

松本市はHIVに関する協議会を発足し学校や地域での予防活動の検討を始めた。村はどうか。

成人式、防災無線などで啓発を進めている。

学校教育ではどうか。

小学校は高学年、中学校では全学年でHIVを含む性教育をしている。

後期高齢者医療制度 国民は75歳で区切ったこと、後期高齢者と名付けたこと、年金からの天引き。に怒っている。この制度を担当職員はどう思っているか。

急な制度改革のためシステムの改修など非常に困惑している。

観光施設の充実と発展 寄つて停は新聞記事の中で人気が高い。更なる施設充実の予定は。

7月から1カ月間営業時間を7時まで延長。1人用の飲食カウンター

の設置も予定している。

照明が暗い改善は

リニエールに向けた総合診断を受ける。結果を見て検討したい。

JRが今年、長野県にスポーツを当てたキャンペーンを始める。村の観光案内、農業体験、ブランド品など1枚もので分かりやすいチラシを用意しないか。

道祖神マップを兼ねたウォーキングマップを製作している。

一般質問

議員が関係する組合等報告

高瀬川右岸水利運営委員会 平成20年4月18日

平成19年度一般会計・特別会計決算が承認され、平成20年度一般会計・特別会計予算を議決しました。

当委員会の事業は、農業用水と昭和電工の使用する発電用水の配分、水路擁護のため516万円の予算とし、地元構成団体（大町市・松川村・右岸土地改良区）で各86万円の258万円、昭和電工が258万円を負担しています。

穂高川水系治水砂防期成同盟会 平成20年5月29日

平成19年度会計決算を承認、平成20年度事業計画・会計予算を議決しました。

この会は、穂高川水系（中房川・烏川・乳川（穂高川））流域に関係ある安曇野市・松川村・大町市と中部電力で組織しており、流域の災害防除、農耕地の確保、安定した住民生活のための砂防施設・治水治山事業の早期実現を期し、各方面に運動を行うことを目的としています。

社会福祉法人 大北福祉事業協会評議員会 平成20年5月26日

理事の選任、規則の制定などを議決し、平成19年度会計決算の認定をしました。

この協会は、救護施設れんげ荘、特別養護老人ホーム高瀬荘、特別養護老人ホーム白嶺、白馬村デイサービスセンター及び白馬村老人介護支援センターの5施設を設置運営しています。

松川村土地開発公社理事会 平成20年5月30日

平成19年度決算を認定しました。資本的支出は2270万円で、職員3名の給料などに1315万円、固定資産税336万円、一借利息277万円、工業団地看板と管理に80万円、パンフレットなど需用費72万円、旅費68万円などです。預金残高は、3467万円です。

【HIV】とは……

ヒト免疫不全ウイルスというウイルス名。HIVというウイルスに感染することにより免疫機能が破壊される病気が「エイズ」です。保健所では抗体検査を無料・匿名で行っています。

＊一般質問は紙面の都合上、主な事項のみ要約して掲載しています。＊詳しい内容をお知りになりたい方は、議会事務局

62 3111までお問合せください。

議会報編集委員が変更されました。よろしくお願ひします。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 矢口弦八郎 |
| 副委員長 | 平林 寛也 |
| 委員 | 甲斐澤 明 |
| 委員 | 榎葉 良子 |
| 委員 | 渡邊 尚省 |
| 委員 | 井上 直昭 |